

## 第1回教養講座 尾多賀晴悟先生

この備後の地は、かつてより実り豊かな土地で、交通や文化の要の地。そしてこの地をめぐるには多くの人たちが戦を繰り返してきた歴史がある。連続教養講座の第1回で、そう熱く語って下さったのは、福山市文化財保護審議会委員の尾多賀晴悟先生。地形の凸凹がよくわかる貴重な「赤色立体地図」を持ち込んで、北部地域の城館跡にまつわるお話を丁寧にお話し下さいました。



尾多賀晴悟 先生

### 〈お寄せいただいた感想から〉



○福山に119か所の城館跡があることを初めて知り驚きました。新市周辺に城塞群があり、福山が昔から非常に重要な立地に位置し栄えてきたことを学び、昔に思いを巡らし、楽しい気持ちになることができました。ありがとうございました。（50歳代女性）

○邪馬台国を調べ、論じた若いころを思い出し、この地方に古代から城があり、「続日本記」の山城があったことを知り、ロマンを感じ、本当に楽しい時間を過ごしました。（70歳代男性）

○30年余り福山に生活していながら、福山の歴史のことを知らずにきていました。今回をはじめ、福山の地について知る機会に出会えたことに感謝します。（70歳代男性）

○面白かった。この土地に生まれたが、歴史的興味はあまりなかった。歳をとり、時間を超えて地元の歴史を知りたくなった。興味深く学びたいです。（60歳代女性）



○受講生が多いのにびっくりしました。これからも講座楽しみにしています。

(70 歳代女性)

○神辺や福山の城が果たした役割や、芦田川を北と南にはさんで、尼子、毛利で対峙し、多くの戦いがなされたことなど、城の立地をどのようにして決めたのかが、いまさらながらわかるようでした。(70 歳代男性)

○備後の城館跡をたどることで、古代からの歴史が見えてくること、日本海から瀬戸内海への道、物品の交流、経済をどう支配していくか重要な位置であったということ、水野勝成が出てくる前からたくさんの出来事が起こったこと、興味いっぱい、初めて聞くことも多く、言葉はわからないこともあったけど面白く聞きました。(60 歳代女性)



○日本の城の変遷について基本的なことから話されたのでわかりやすかった。福山の地は古代から要の地域とされてきたことが分かった。そこで人々が営々として暮らしてきた様子をもう少し話してもらえたら、より福山という地域について理解が深まったと思う。

(60 歳代男性)

郷土の歴史を学ぶことは、歴史と私たちの生活や思い出とが交差するクロスロードを発見することだと思います。第2回以降の教養講座がますます楽しみです。